



「短命県返上」に向けて県民の機運を高めた大会

「短命県」返上しよう

青森で
県民大会
健康法学ぶ講演も

「短命県返上」に向けて県民の機運を高めて、県などは30日、青森市内で「健康あおもり21ステップアップ県民大会」を開いた。大会宣言や講演を通じて、約1500人の参加者が健康への意識を高めた。

イベントは県健康増進計画「健康あおもり21(第2次)」で掲げる県民のヘルスリテラシー(健康教養)向上などを目指して開催したもので、昨年度に続き2回目。

三村申吾知事が「県民一人ひとりの自発的な健康づくりの実践や健やか力の向上に期待」を込めて、三村知事らの音頭で参加者全員が「今を

変えれば未来は変わる」と唱和した。続いて、中路重之弘前大学大学院医学研究科長が「さあ始めよう!『健活』」をテーマに、パイヤ鈴木さんが「TALK 私の健康法!」と題してそれぞれ講演した。

県食生活改善推進員連絡協議会による「減塩フランス食の試食コーナー」などのブースも設けられ、にぎわいを見せた。

(成田真由美)